

特定非営利活動法人UMLモデリング推進協議会 総会議事録

1 日 時 平成19年5月11日 午後14時40分から午後17時50分まで

2 場 所 東京都千代田区平河町 2丁目4番1号
都市センターホテル 601

3 出席者数

24団体正会員/2個人正会員、1団体準会員、3個人準会員、 (総数 合計30名)

4 出席者氏名 (順不同)

上野南海雄、堀内一、田口 秀一、上田富三、山城明宏、大森麻理、岸上 信彦、宮橋一郎、山田豊文、中村 正、新保康夫、羽田昭裕、中原俊政、久芳靖、加藤雅樹、羽生田栄一、大林正晴、平野聖詔、澤野真実、木島博征、島田嗣仁、古谷哲治、藤野博之、冨澤雅彦、今野隆一、郷始志、知場訓久、寺西護、木村芳男、佐藤敏雄、陳鐘三、中村秀興、森田禎、吉田裕之、石田安志、南尚鎮、古江正文、細川泰正、小林正博、竹政昭利

5 報告事項

2006年度全体活動報告、決算、監査報告

6 審議事項

- (1) 第一号議案 全体活動方針
- (2) 第二号議案 各部会活動方針
- (3) 第三号議案 役員および組織承認
- (4) 第四号議案 本年度予算 (案)

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- ・司会より、上野南海雄氏を議長に指名し、全員異議なくこれを承認した。
- ・議長より、正会員52名中、出席正会員24名、委任状14名により本総会の成立が宣言された。
- ・副会長堀内一氏より、2005年4月1日から2006年3月31日までの活動内容の報告を行った。
- ・報告内容は以下の通り。
 - 1) 会員数の実績は81となった。
 - 2) モデリング技術者認定試験の受験者数が1万人突破。今後は受験者の組織化などの対応が必要。
 - 3) 問題作成部会では、L3試験に向けてプロトタイプ試験の開発・実施。
 - 4) モデル用語部会では、UML2.0対応用語の改定。UML JIS化への協力。
 - 5) 普及活動として、技術セミナー (BPMN・組み込み)、L2対策セミナー、MF2006を実施。
 - 6) モデル共有促進部会では、新たにモデルベースアーキテクト分科会、保険業務モデリング分科会を発足させた。
 - 7) 海外セミナーとして、中国にて複数回のセミナーを実施。
 - 8) 国際連携として、中国での認定試験の実施。従来のピアソンVUEによる配信の他、THS社独自配信システムでの試験実施について、大連理工大学、武漢大学、大連交通大学と合意。
 - 9) 標準化対応部会・UMTP Internationalの活動として、ISO/IEC SC32への支援として、「メタモデル相互運用枠組み」規格の一部が国際規格として承認された。
 - 10) 今後の課題としては、WEBによる発信力の強化、業界団体・海外との連携促進。
- ・事務局小林正博氏が、2005年4月1日から2006年3月31日までの事業会計収支の報告を行い、承認された。監査 宮澤修二氏より、2005年4月1日から2006年3月31日までの第四期事業年度における財産の状況、業務執行について適正かつ適法に行われている旨の報告があり、了承された。

(1) 第一号議案 全体活動方針

副会長堀内一氏より2007年度(第五期)の活動方針案が報告され、この方針をもとに活動していきたい旨を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(2) 第二号議案 各部会活動方針

問題作成部会、オフショアソフトウェア開発分科会、モデルベース・アーキテクト分科会の3部会より活動報告および本年度計画を報告し、各々、当該計画をもとに活動していきたい旨を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(3) 第三号議案 役員および組織承認

事務局小林正博氏より新体制および再任、退任、新理事、新監事候補案を配布し審議した結果、全員異議なくこれを承認した。尚、理事の再任・退任、新任理事、新任監事は以下①のとおり。また、組織の変更については②の通り。

① 再任理事(重任理事)：鈴木俊宏氏、神谷有二氏、江口和俊氏、中村孝男氏

退任監事：佐藤久氏

退任理事：渡辺政彦氏

新任理事：知場訓久氏

新任監事：島田嗣仁氏

なお、理事 上野南海雄氏、堀内一氏、三浦浩氏、長瀬嘉秀氏、藤野博之氏、山田伸一氏、嶋本正氏、藤原淳一氏、岡田高行氏、石田安志氏、監事 宮澤修二氏については任期途中であるため来年まで継続。

② 新たに広報委員会を設置する 主査 郷始志氏。

オフショアソフトウェア開発分科会をオフショアソフトウェア開発部会とする。

UMTP University運用部会をUMTP 認定試験運用部会とする。

運営委員会を、従来の副会長1名、各部会・委員会主査、副主査に加え、各分科会の主査・副主査を加えたメンバーで構成するものとする。

(4) 第四号議案 本年度予算案

事務局小林正博氏より2007年度予算案を報告、審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

収入として、会費収入では、団体会員10団体純増を見込む。認定試験では、L1T1では昨年並み、L1T2、L2では10%増を見込む。中国での試験では、一般・学生を合わせて700名を見込む。

支出として、L3試験開発のため2000万円の増加が見込まれる。

普及事業：報告書作成、セミナー開催費を含めて増大することを見込んでいる。

認定事業：L3試験開発、外部委託費を見込む。

プラットフォーム開発業者については現在選定中。

共有事業：会議費として1律10万円、オフショアソフトウェア開発分科会による調査委託・成果報告書作成費用として100万円を見込む。

管理費：ホームページ製作に関わる作業委託先の変更により減少。

収支：約1500万円の赤字となる。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成19年5月11日

議 長 上野南海雄

議事録署名人 堀内 一

議事録署名人 小林 正博